

必要な用途に合わせて選べる2タイプ



SAT 01 SAT02の機能に加えて、車椅子から便座への移乗を補助する「旋回機構あり」のタイプ



SAT 02 便座での昇降、姿勢保持機能を備えた「旋回機構なし」のタイプ。

簡単な装着で、さっと使え、安全支える「体幹支持具」

体の大きさに合わせ、適切な前屈姿勢となるように、形状の異なる3サイズの体幹支持具を用意しています。
※サポーターベルトは面ファスナーでの着脱・交換が可能です。



F
SIZE 小柄な方、
体重の軽い方用



F+
SIZE 成人女性、
小柄な男性用



L
SIZE 成人男性、
大柄な方用



ワンタッチで交換可能な
バックルを採用。

選べる2種類のフレーム

●天井設置フレーム

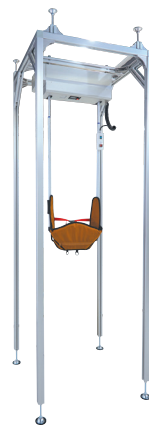


※別途アンカー工事が必要。

●据置アルミフレーム



※アルミフレームはトイレサイズに合わせて作成し、介助同線の邪魔をしないように設置します。



SAT 01 移乗支援・排泄動作支援機器

SAT 02 排泄動作支援機器

特許 第6968309号

TAIS CODE : 02055-000003(SAT-01-AF-A)

TAIS CODE : 02055-000004(SAT-02-AF-A)

商品説明や実際の操作方法などホームページや動画でご確認頂けます。

サットイレ <https://curans.co.jp>



HP



動画

定格・仕様

| | | |
|------|---------------------------------------|------------------------------|
| 販売名 | サットイレ SAT01 (旋回機構あり) / SAT02 (旋回機構なし) | |
| 使用電源 | 交流100V 50-60Hz | |
| 消費電力 | 161.4W | |
| 一般名称 | SAT01 移乗支援・排泄動作支援機器 SAT02 排泄動作支援機器 | |
| 質量 | 本体：約14kg / 旋回機構：約16kg | |
| 外形寸法 | SAT01 (旋回機構あり) | 高さ約34.5cm×幅約55.2cm×奥行約41.7cm |
| | SAT02 (旋回機構なし) | 高さ約21.0cm×幅約55.2cm×奥行約27.6cm |
| 製造国名 | 日本 | |

※SATOILETは株式会社クーランスの登録商標です。特許登録6968309号。

製造販売元

株式会社クーランス

〒673-1451 兵庫県加東市家原245-5 KR事業部
TEL 0795-39-0618 (直通) FAX 0795-39-0618 mail: info@curans.co.jp

思いやりと優しさをカタチに
CURANS

一人の介助で、
さっと移乗・排泄動作支援

SATOILET
サットイレ

2人での介助が1人でも可能に。

介護の現場ではご利用者の排泄支援が介護者の大きな負担となっています。

トイレまでの移動支援から立ち上がり、着脱衣介助、着座の支援、見守りなど、最低でも2人での対応が必要でした。

忙しい現場でイレギュラーなタイミングで2名の介護者の手を取られるのは厳しく、長年の課題となっていました。

そんな現場の一助になればと開発されたのが移乗・排泄支援機器「サットイレ」です。

操作手順



STEP 1
スイッチを操作して
体幹支持具を下降します。

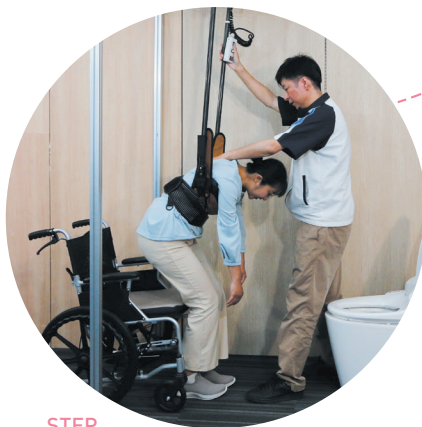


STEP 2
バックルを背中と腹のサポーターベルトを
しっかりと締めます。



STEP 3
リフトする前に
ご利用者には必ず
前傾を促してください。

Point!



STEP 4
スイッチを操作して
ご利用者をリフトします。



STEP 5
スイッチを操作して、
サットイレのロックを外し、
ご利用者を便座方向へ
ゆっくりと移動します。



STEP 6
スイッチを操作して、
ご利用者に便座へ
着座していただきます。



STEP 7
ご利用者の
排泄が終わるまで
退室することが
可能です。

How to Use...

介助をする人と、介助をしてもらう人。 お互いのココロとカラダに優しいのが『サットイレ』です。

毎日の介護の中でもトイレの利用は介助をする人(介護者)はもちろん、介助をしてもらう人(要介助者)双方にとって高いハードルとなっています。支援機器の開発はそのような介護者の負担を減らすためにと一般的に考えられていますが、『サットイレ』の開発コンセプトはそこだけに留まりません。

要介助者側の心身の負担軽減と自立支援を実現した、介護者と要介助者双方に《優しい》をキーワードにしたものです。例えば要介助者が立ち上がる時、頭頸部に負担がかからないような動線の再現や、機器を使って身体の動きを全て代替するのではなく、要介助者の現存機能を活かし自立を支援することにこだわることで、要介助者の気持ちに寄り添い、尊厳を保つことができる支援機器となっています。排泄支援機器としては先発ですが、介護者と要介助者双方のココロとカラダに優しい支援機器に仕上がったと自負しています。そんな『サットイレ』は高齢の要介助者に留まらず、身体的な障害を持たれておられる方にもご利用頂けたらと思っています。



兵庫県立福祉のまちづくり研究所
陳隆明 所長

介助者のメリット

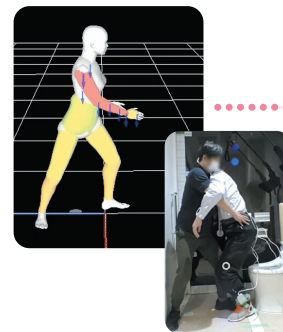
●身体的負担減

一人での介助が可能になるだけでなく、介助者が抱え上げる動作がなくなるので身体的負担も。

●精神的・時間的負担の低減

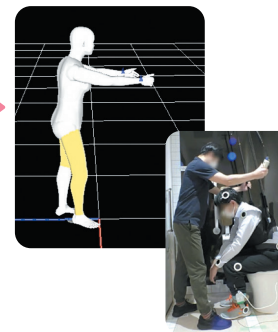
ご利用者の着座姿勢が安定するので、排泄が終わるまで介助者が現場を離れることが可能となります。これにより精神的な負担を軽減するとともに、時間を有効にご利用いただけます。

〈人力介助〉



●体の負担... 大 小

〈機械介助〉



腰部負担 **67% 減** / 大腿部負担 **75% 減** ※全行程平均負担

次の方はご利用をお控えください。

●ペースメーカーを装着されている方や、胃瘻のチューブを装着されている等、胸部圧迫に問題のある方。●強度の円背の方。●支援されながらも立位保持の出来ない方。

ご利用者のメリット

●現存能力の維持・向上

支援を受けながらも立位保持が出来る方向けの支援機器です。少しでも下肢を動かすことで下肢機能低下を防ぐだけでなく、下肢機能の維持・向上も期待できます。

●尊厳の維持と排泄の促進

排泄が終わるまで介助者がトイレ内から退出することが可能となるため、ご利用者がおひとりで排泄することができ、尊厳が守られます。また、見られているというストレスから解放されることで排泄の促進に繋がります。

●ご利用者の負担減

自然にゆっくりと立ち上がる動作は、頭頸部の負担を軽減します。

〈人力介助〉



Y
X

〈機械介助〉



Y
X

一般的な
立ち上がり
軌跡例

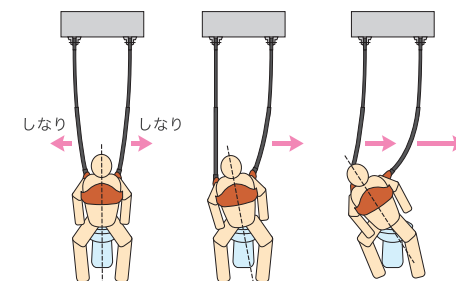
1 2

1 沈み込んでから上昇
2 本人の支持基底面上に戻る

※データは厚生労働省 令和2年度「介護施設等における生産性向上に資するパイロット事業」報告書より。

「カーボンパイプ」でしなやかに身体を支える支持アーム

ご利用者の身体を安全・確実に支持するカーボンパイプ製の支持アームを採用。ふらつきなどの動きに対してもしなやかに追従することで、安全に違和感なく姿勢を保持します。



軽量・しなやか・強い

ご利用者の動きに合わせて柔軟に追従し、しなりの力で姿勢を元にもどします。

